

2025 年 12 月 24 日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 156 「社交不安症における文化差と日本人に適した治療法の開発に向けて」野田 昇太 (Marburg University)

1) 学会からのお知らせ

■第 38 回大会ポスター発表優秀発表賞の受賞者決定 (事務局より)
2025 年 9 月 20 日・21 日に開催された日本健康心理学会第 38 回大会 (準備委員長: 桜美林大学 石川利江) における, 独創性部門および若手奨励部門の受賞者は, 以下の先生方となりました。
独創性部門: 小川将氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)
若手奨励部門: 松井智子氏 (大阪大学)

■第 37 回日本健康心理学会 (昨年度) の抄録公開のお知らせ (編集委員会より)

J-stage に昨年度大会の抄録が公開されました。下記の URL をご確認ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahpp/list/-char/ja>

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の 12 月記事のお知らせ (国際委員会より)
"Search Results for: Raising weight in a consultation" の日本語記事「診察時に体重を話題にする方法」が掲載されました。

<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2019/09/raising-weight-in-a-consultation/>

※アクセスの際には, URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご高覧ください。

※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが, 別のブラウザにてお試しください。

2) 外部連携団体からのお知らせ

■令和 6 年国民健康・栄養調査の概要発表 (健康日本 21 推進全国連絡協議会より)

厚生労働省「令和 6 年国民健康・栄養調査の概要発表」が公開されました。下記 URL よりご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66279.html

3) 健康心理学コラム Vol. 156

「社交不安症における文化差と日本人に適した治療法の開発に向けて」
野田 昇太 (Marburg University)

社交不安症 (Social anxiety disorder: SAD) とは, 他者から注目される可能性のある社交場面において, 強い恐怖や不安を感じることを主徴と

する精神疾患です。SAD の発症や維持には文化的要因の影響があることが示されています。文化的要因には, 集団主義や個人主義などが含まれ, これらの違いは, SAD の行動的・認知的な維持要因に関与するだけでなく, 診断基準を満たすと判断される症状の程度や, 日常生活への支障の程度にも影響を及ぼします (Spence & Rapee, 2016)。

私たちの研究チームの調査でも, 米国と日本において SAD 症状に関連する精神病理が異なることを明らかにしました (Noda et al., 2025a)。さらに, 同じ日本人集団内においても, SAD の認知行動モデルが SAD 患者と大学生とで異なることを確認しました (Noda et al., 2025b)。これらの結果から, 日本の文化的背景に即した介入法の開発が必要であり, さらに対象集団の特性に応じた介入戦略を用いる必要があることが示唆されます。今後は, 日本人特有の精神病理に効果的な治療法の開発を進めてまいります。

引用文献

Noda, S., Kasch, C., Lindsay, C. E., & Hofmann, S. G. (2025a). Cross-cultural network structures of social anxiety, body dysmorphic, and major depressive disorder symptoms in individualistic vs. collectivistic societies: A comparison between American, German, and Japanese populations. *Journal of Anxiety Disorders*, 116, 103090. <https://doi.org/10.1016/j.janxdis.2025.103090>

Noda, S., Nishiuchi, M., Andreoli, G., Shiotsuki, K., & Hofmann, S. G. (2025b). Network structure of social anxiety in patients with social anxiety disorder and university students: Examining the cognitive behavioral model and the role of mindfulness. *Journal of Affective Disorders*, 387, 119498. <https://doi.org/10.1016/j.jad.2025.119498>

Spence, S. H., & Rapee, R. M. (2016). The etiology of social anxiety disorder: An evidence-based model. *Behaviour Research and Therapy*, 86, 50–67. <https://doi.org/10.1016/j.brat.2016.06.007>

メールマガジンの配信停止, アドレス変更は下記アドレスまで
日本健康心理学会事務局 < jahp@pac.ne.jp >
メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで
広報委員会 < jahp@pac.ne.jp >
過去のメールマガジンは, こちらからご覧いただけます
<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>